

早期加温型施設栽培に適した極早生ウンシュウ「崎久保早生」

[要約] 極早生ウンシュウ系統の早期加温栽培で、「崎久保早生」は他の極早生系統に比べて熟期がやや早く、「宮川早生」と比較すると25日早い。また、樹冠容積が大きく、収量も多く、果実品質も良好である。

三重県農業技術センター・紀南かんきつセンター・かんきつ担当

連絡先

05979-2-0008

部会名	果 樹	専 門	栽 培	対 象	果樹類	分 類	普 及
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

[背景・ねらい]

ウンシュウミカンの施設栽培における熟期促進を図るために、早期加温型施設栽培に適した極早生ウンシュウ系統の選抜を行った。

[成果の内容・特徴]

- 1 樹体生育は「崎久保早生」、「高林早生」で樹冠容積が大きくなり、「崎久保早生」で幹周の肥大も良い(表1)。
- 2 1樹及び樹冠占有面積当たりの収量は、「崎久保早生」で多く、「上野早生」で少ない(表2)。
- 3 収穫果の果形は、「崎久保早生」、「山川早生」、及び「上野早生」で扁平であるが、「高林早生」では腰高となる(表3)。
- 4 収穫果実の糖度は「崎久保早生」で高く、減酸は「崎久保早生」及び「上野早生」で早い(表3)。
- 5 果実の収穫時期は「崎久保早生」が他の系統よりやや早く、対照の「宮川早生」に比べ25日程度早まる(表3)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 極早生ウンシュウの利用により、ウンシュウミカンの早期加温型施設栽培での熟期促進が可能となり、カンキツの周年供給体制の充実が図れる。
- 2 本成果はれき質土壌条件下での結果であるので、導入にあたっては現場の土壌条件に留意して樹勢の調整を図る必要がある。

[具体的データ]

表1 早期加温型施設栽培における極早生ウンシュウ系統の樹体生育

系 統	樹 冠 容 積					幹 周		肥大率 (%)
	1991 (m ³)	1992 (m ³)	1993 (m ³)	1994 (m ³)	1995 (m ³)	1991 (cm)	1995 (cm)	
崎久保	4.08	5.04	6.27	8.62	8.99	13.2	21.6	164
山 川	2.79	3.00	3.72	5.27	6.69	12.1	18.9	156
上 野	2.81	3.36	4.49	5.67	5.44	12.6	18.1	144
高 林	3.42	4.71	6.25	9.07	8.18	13.2	20.6	156
宮 川 (対照)	1.73	2.80	4.20	6.24	6.70	11.1	20.5	185

注) 各系統の樹齢 (1995年時)

「崎久保」- 10年生、「山川」- 9年生、「上野」- 9年生、
「高林」- 9年生、「宮川」- 10年生

表2 早期加温型施設栽培における極早生ウンシュウ系統の収量

系 統	1 樹当たり収量 (kg/樹)						樹冠占有面積当たり収量 (kg/m ²)					
	1991	1992	1993	1994	1995	平均	1991	1992	1993	1994	1995	平均
崎久保	14.2	21.4	30.1	33.4	29.1	25.6	6.1	7.9	8.9	7.7	6.5	7.4
山 川	8.9	15.2	18.5	22.7	23.1	17.7	4.0	6.7	7.0	6.5	5.3	5.9
上 野	8.2	13.4	15.7	16.5	12.7	13.3	4.2	6.9	5.9	4.8	4.3	5.2
高 林	11.7	16.7	25.6	26.7	27.9	21.7	5.5	6.8	7.4	5.8	6.7	6.4
宮 川 (対照)	8.6	9.9	23.7	26.2	24.5	18.6	6.4	5.4	8.8	7.5	7.1	7.0

表3 早期加温型施設栽培における極早生ウンシュウ系統の果実品質

系 統	平均 果形 果皮色 果皮 果肉歩 糖度 ケン酸	じょうのう	収穫開						
重(g)	指数 (カラーチャート)	厚(mm)	合(%)	(%)	(%)	膜の厚さ(mm)	始日		
崎久保	73	146	5.2	2.3	76	12.4	0.94	0.18	6月22日
山 川	71	154	5.1	2.1	77	12.2	1.13	0.17	6月25日
上 野	70	148	5.5	2.0	77	12.0	0.96	0.19	6月25日
高 林	73	134	5.6	2.0	79	11.9	1.12	0.16	6月25日
宮 川 (対照)	79	142	4.6	2.0	79	12.4	0.95	0.13	7月18日

注) ①1993年~1995年の3ヶ年平均

②各品種とも、収穫始めの果実品質を調査した。

③果実分析日

	極早生系統	宮川早生(対照)
1993年	6月25日	7月15日
1994年	6月17日	7月7日
1995年	6月28日	7月25日

④じょうのう膜厚は2枚重ねで、中央部をマイクロメーターにより測定。

[その他]

研究課題名：極早生ウンシュウの加温ハウス栽培

予算区分：県単

研究期間：平成8年度(平成3~7年)

研究担当者：市ノ木山 浩道